



青

藍

◇学校教育目標◇

ふるさと嘉瀬を愛する青藍の子の育成
 ~ “Laugh (笑い声)” & “Smile (笑顔)” ~

令和5年11月5日 文責 校長 江島静佳

ふるさと嘉瀬町をもっと元気にしたい！

嘉瀬町に、色とりどりのバルーンが飛び交う季節となりました。子どもたちは、道々空を見上げ、バルーンを数えながら登校していました。バルーンは見慣れている子どもたちですが、今年は、飛び立つバルーンの多さに興奮ぎみでした。また、1日には、ドイツのチームが校舎の真上を通過し、運動場付近で下降してくれました。子どもが、「ヤッホー！」と手を振ると、「konnitwiwa」と、手を振り返してくれました。何とも微笑ましい光景でした。

ところで、このバルーンフェスタは、この嘉瀬小の教育活動にとっても大きな影響を与えています。低学年では、キッズデーの会場に足を運び、遊んだり話を聞いたりしながら、ここに関わる多くの人たちの存在を知り、地域のビッグイベントを肌で感じることができます。また、4年生になると、総合的な学習の時間に「かかし」を作って、バルーンフェスタを盛り上げます。「かかし作り」は、もともと嘉瀬町が来場へのおもてなしの気持ちから始まったと言われます。だから、その一旦を担う4年生のかかし制作には、地域の方が何回も手伝いに来てくださり、アドバイスもいただきます。最後には、キッズデーの日に、ステージで発表をします。4年生全員でステージに上がります。毎年行われる「サガライトファンタジー点灯式」にも、佐賀市から2校だけ招待を受け参加しますが、その際、代表の子どもが嘉瀬かかし祭りの宣伝を行います。

このように、地域の行事に参加や参画をしながら、多くの人や物と交流をしています。子どもたちに、自然と嘉瀬愛が育つはずですね。4年生は、ステージ発表の後、ゴミ拾いを行います。これも3年生の時に学習したボランティア学習からうまれた活動だそうです。そういえば、最近、登校中に火鉢片手にゴミ拾いをしながら登校している3年生もいます。3年生のボランティア活動の対象が、地域へと広がっているそうです。見かけたら、ぜひ声をかけてあげてください。



第2回フリー参観にご参観いただき、ありがとうございました。

10月29日(日)は、秋晴れに恵まれ、延べ366名の方に来校していただきました。午前中、授業や学年親子活動、また3年生と4年生には『どようひろば』も特設されました。

『どようひろば』については、KSVNの役員や母親委員会の方々に、今回も手作り感満載の楽しい活動を提供していただきました。これまでも『どようひろば』には、低学年が多く参加してきていましたが、約3年間のコロナ禍においては、それが十分にできませんでした。そこで、3、4年生全員に「どようひろば」の楽しさを味わってもらい、今後「ジュニアボランティア」としての活動を期待したいと、企画されました。また、こうした楽しい体験が、将来大人になったときにボランティア活動の原動力になるのではないのでしょうか。

フリー参観のアンケートを紹介

■ 学校の様子について

- ・地域の方々とのつながりがあり、子どもたちが見守られている温かさを感じます。
- ・先生たちの目が行き届いています。
- ・児童数が少ないので、掲示物等が見やすいです。

■ 授業について

- ・電子黒板、書画カメラ、黒板への板書等、使いこなされていて、わかりやすかったです。
- ・電子黒板を活用し、児童にわかりやすく説明をされていたと思います。
- ・一つ一つの学びが子どもたちに入っていると思いますが、ついていけない子、ついていけない子がいる中、先生方の指導も大変だと思いました。電子黒板は、外の光が反射して見えづらい子もいるのではないのでしょうか。
- ・タブレットを雑に扱う子がいて、ちょっとひやひやしました。

■ 児童の様子

- ・授業参観で初めて発表するなど、積極的になっている様子が伺えました。
- ・休み時間になると、きちんと次の時間割の準備をし、残りの時間も落ち着いてすごせているのに感心しました。
- ・保護者がいるから、普段よりそわそわしていたと思います。
- ・おとなしい子、活発な子。明るい子、挨拶がハキハキしている子、恥ずかしがる子、いろいろな子ども達ですが、皆、学校にだんだん馴染んでいることを肌で感じ学んでいる子どもたちだと思いました。

■ 学校の環境について

- ・校内は、きれいに掃除、整備されていると思いました。リニューアルが楽しみです。
- ・整理整頓ができています。校舎改築に入りましたが、安全に配慮されているように感じました。
- ・とても静かな環境だと思います。

年間を通して、人権に関する集会やフェスタを行っています。10日(金)には、弓削田さんによる「いのちと夢のコンサート」を予定しています。

「いじめ・いのちを考える日」の取り組み

人権教育は、教育活動の全てにおいて取り組むべきものですが、今年度、全校児童に「人権リーダー」を公募しました。人権活動に、児童が主体的に取り組んでほしいと考えたからです。今年度は、1年生から6年生まで、計48名のリーダーが誕生しました。(1年:19名、2年:1名、3年:9名、4年:3名、5年:5名、6年:3名)活動内容は、自分達で考えた19の取り組みを行っていきます。2日の朝は、全校一斉に「心のアンケート」を実施しましたが、この時も、リーダーがぽかぽか言葉の紹介をしました。自分達の生活を、自分達の手でより良くしていこうとする意識が徐々に広がっています。



★11月の生活アンケートからの紹介

「この一か月間にあった、うれしいことやがんばったこと」

- ・フリー参観で、ひさしぶりにお母さんと一緒に体を動かして遊べたからうれしかった。友達ともいっぱい遊べた。(4年)
- ・ドッチボール大会でみんなと協力して、優勝できたことです。(6年)
- ・算数の九九をがんばっている。(2年)
- ・森林公園のスケッチでがんばって描いたこと。とてもきれいな絵が描けたので嬉しかったです。(4年)
- ・かせっこまつりで、年長さんがよろこんでくれてうれしかった。(2年)

12月の主な行事

- ・12月 1日(金) いじめ・いのちを考える日
- ・12月 8日(金) 授業参観・学級懇談会
- ・12月 11日(月) 町区児童会、大掃除週間(~19日)
- ・12月 14日(木) 読み聞かせ、ワックス掛け
- ・12月 16日(土) どうようひろば(異文化交流事業ワークショップ・しめ縄作り)
- ・12月 22日(金) 2学期終業式

この時期は、仮設校舎建築中ですので、安全上のため中止の可能性もあります。決まり次第、メールでお知らせします。